

新規実施項目のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

敬具

(記)

【項目名】：アルドステロン(CLEIA)/レニン活性比 (PAC/PRA比)
アルドステロン(CLEIA)/活性型レニン定量比 (PAC/ARC比)

【受託開始日】：2023年4月1日(土)受付分より

【受託要領】

項目名称	アルドステロン(CLEIA)/レニン活性比
項目コード	5484
所要日数	4~5
検査方法	計算法
基準値	スクリーニング陽性基準 [原発性アルドステロン症 診療ガイドライン2021]より ARR : アルドステロン/レニン比 PAC : 血漿アルドステロン濃度 PRA : 血漿レニン活性 PAC(CLEIA法)とPRAを測定し、ARR(PAC/PRA比)が ≥ 200 かつPAC(CLEIA法) $\geq 60\text{pg/mL}$ で陽性と判定。ただし、CLEIAによる測定値が普及、一般化し、CLEIA法による至適カットオフ値が確立するまでは、ARR100~200をARR境界域と位置付け、ARR100~200かつPAC(CLEIA法) $\geq 60\text{pg/mL}$ も暫定的に陽性と判定。
単位	なし
報告範囲	1~10000000
報告桁数	整数
備考	ご依頼時は必ず下記3項目を同時にご依頼ください。 依頼コードNo. 5484: アルドステロン(CLEIA)/レニン活性比 依頼コードNo. 441 : アルドステロン/CLEIA (PAC) 依頼コードNo. 2757: レニン活性 (PRA)

2021年10月16日に日本内分泌学会から「原発性アルドステロン症診療ガイドライン2021」が発刊され、CLEIA法による血漿アルドステロン(PAC)および、血漿アルドステロンとレニン活性(PRA)または活性型レニン定量(ARC)との比(ARR)が推奨されたと同時に、基準値(カットオフ値)の見直しも行われました。弊社では、この日本内分泌学会の新ガイドラインが推奨する基準値(カットオフ値)を採用した血漿アルドステロン/レニン活性比(PAC/ARA比)および血漿アルドステロン/活性型レニン定量比(PAC/ARC比)の受託を開始いたします。

※裏面に続きます。

項目名称	アルドステロン(CLEIA)/活性型レニン定量比
項目コード	5485
所要日数	4~5
検査方法	計算法
基準値	<p>スクリーニング陽性基準 [原発性アルドステロン症 診療ガイドライン2021]より ARR : アルドステロン/レニン比 PAC : 血漿アルドステロン濃度 ARC : 活性型レニン定量</p> <p>PRAの代替としてARCを用いる場合、ARR(PAC/ARC比)が≥ 40かつPAC(CLEIA法)$\geq 60\text{pg/mL}$で陽性と判定。ただし、アルドステロン(CLEIA)/レニン活性比の判定基準に準じてARR20~40をARR境界域と位置付け、ARR20~40かつPAC(CLEIA法)$\geq 60\text{pg/mL}$も暫定的に陽性と判定。</p>
単位	なし
報告範囲	1~10000000
報告桁数	整数
備考	<p>ご依頼時は必ず下記3項目を同時にご依頼ください。 依頼コードNo. 5485: アルドステロン(CLEIA)/活性型レニン定量比 依頼コードNo. 441 : アルドステロン/CLEIA (PAC) 依頼コードNo. 2449: 活性型レニン定量/CLEIA (ARC)</p>

【参考文献】

- アルドステロン 佐藤文俊, 他 : 医学と薬学 76, 1819-1826, 2019.
 レニン活性 宇津貴央, 他 : 医学と薬学 73, 311-321, 2016.
 活性型レニン定量 佐藤文俊, 他 : 医学と薬学 76, 1827-1832, 2019.